

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 3 月 25 日 (2021.3.25)

【公表番号】特表 2020-525428 (P2020-525428A)

【公表日】令和 2 年 8 月 27 日 (2020.8.27)

【年通号数】公開・登録公報 2020-034

【出願番号】特願 2019-570503 (P2019-570503)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/35 (2006.01)

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 5/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

A 6 1 P 17/10 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 K 31/121 (2006.01)

A 6 1 K 31/12 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/35

A 6 1 K 8/00

A 6 1 Q 5/00

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/10

A 6 1 P 17/10

A 6 1 P 17/06

A 6 1 K 31/121

A 6 1 K 31/12

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 2 月 5 日 (2021.2.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エリトルロース及びヒドロキシアセトフェノンを含む局所用組成物であって、ヒドロキシアセトフェノンの量が、前記組成物の総重量を基準にして、0 . 0 1 w t . - % ~ 2 w t . - % の範囲で選択される、エリトルロース及びヒドロキシアセトフェノンを含む局所用組成物。

【請求項 2】

エリトルロースの量が、前記組成物の総重量を基準にして、0 . 0 0 5 ~ 5 w t . - % の範囲で選択される、請求項 1 に記載の局所用組成物。

【請求項 3】

前記ヒドロキシアセトフェノンが p - ヒドロキシアセトフェノンである、請求項 1 又は 2 に記載の局所用組成物。

【請求項 4】

前記組成物が化粧用組成物又は医薬組成物である、請求項 1～3 のいずれか一項に記載の局所用組成物。

【請求項 5】

前記組成物が、シャンプー製剤、ヘアコンディショナー、O/W エマルジョン、W/O エマルジョン又はゲルである、請求項 4 に記載の局所用組成物。

【請求項 6】

前記組成物が、水、並びに界面活性剤、乳化剤、増粘剤及び油からなる群から選択される少なくとも 1 種の作用剤をさらに含む、請求項 1～5 のいずれか一項に記載の局所用組成物。

【請求項 7】

皮膚及び/又は頭皮を、請求項 1～6 のいずれか一項に記載の局所用組成物に接触させるステップを含む、前記皮膚及び/又は頭皮を処置する方法。

【請求項 8】

皮膚掻痒感の処置、防止及び/若しくは予防のための、並びに/又は健常な皮膚の恒常性を維持するための、並びに/又は皮膚マイクロバイオームのバランスを維持するための、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

皮膚掻痒感の防止若しくは処置のための、及び/又は健常な皮膚の恒常性を維持するための、及び/又は皮膚マイクロバイオームのバランスを維持するための、請求項 1～6 のいずれか一項に記載の局所用組成物の使用。

【請求項 10】

マラセチア属 (*Malassezia*) 酵母が引き起こす疾患及び/又は障害の処置、防止及び/又は予防に使用するための、請求項 1～6 のいずれか一項に記載の局所用組成物。

【請求項 11】

前記疾患及び/又は障害が、癬風、頭部秕糠疹の形成、脂漏性皮膚炎、アトピー性皮膚炎及び乾癬からなる群から選択される、請求項 10 に記載の局所用組成物。

【請求項 12】

ざ瘡の処置、防止及び/又は予防に使用するための、請求項 1～6 のいずれか一項に記載の局所用組成物。

【請求項 13】

マラセチア属 (*Malassezia*) 酵母、特に癬風菌 (*Malassezia furfur*)、プロピオニバクテリウム・アクネス (*Propionibacterium acnes*) 及び/又はカビ、例えば特にアスペルギルス・ブラジリエンシス (*Aspergillus brasiliensis*) を、死滅させる、及び/又は阻害する方法であって、前記酵母、P・アクネス (*P. acnes*) 及び/又はカビをエリトルロースとヒドロキシアセトフェノンとの組合せに接触させるステップを含む方法。

【請求項 14】

マラセチア属 (*Malassezia*) 酵母、例えば特に癬風菌 (*Malassezia furfur*)、及び/又はカビ、例えば特にアスペルギルス・ブラジリエンシス (*Aspergillus brasiliensis*) に対する抗微生物剤としての、エリトルロースとヒドロキシアセトフェノンとの組合せの使用。

【請求項 15】

化粧用組成物、家庭用品、プラスチック製品、紙及び/又は塗料の群から選択される製品において、エリスロース (*erythulose*) とヒドロキシアセトフェノンとの組合せを含有しない製品と比較して防腐を向上させるために、アスペルギルス・ブラジリエンシス (*Aspergillus brasiliensis*) の増殖を阻害するための、エリトルロースとヒドロキシアセトフェノンとの組合せの使用。